

【特集】

大切な命を守るために

市では、令和2年1月28日に「登米市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置。国や県、関係機関と連携しながら、市民の皆さんが安全安心な生活を送れるよう取り組んでいる感染症対策などを紹介します。



(5月11日時点の情報です)

市の新型コロナウイルス感染防止の取り組みは、市公式ホームページで随時更新しています。

<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



世界で猛威を振るう「新型コロナウイルス」

2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において、原因となる病原体が特定されていない肺炎の発生が複数報告されました。現在、新型コロナウイルス感染症として、世界各国で調査や対応が進められています。

5月11日現在、中国をはじめ、日本、アメリカ、スペイン、イタリアなど、世界中で感染者が報告され、感染の拡大に伴い、4月16日には政府から全都道府県を対象とした緊急事態宣言が出されました。

市内でもマスクや消毒液の不足、外出の自粛、市立の小中学校の休業など、私たちの生活にも影響が出ています。健康被害や日常生活への影響を可能な限り減らすためには、国、県、市による対策はもろろん、家庭や職場における対策も不可欠です。

今号の特集では、新型コロナウイルスの症状や予防方法、感染拡大防止に向けた取り組みなどを紹介。自分や大切な人の命を守るため、新型コロナウイルスに関する知識を身に付け、家庭や職場で感染予防などについて話し合い、情報を共有するなど一人一人ができることを実践していきましょう。

新型コロナウイルスを知る

■新型コロナウイルスとは

コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや「重症急性呼吸器症候群(SARS)」、2012年以降発生している「中東呼吸器症候群(MERS)」ウイルスが含まれ、今回の新型コロナウイルスもその一つです。

コロナウイルスはウイルス自体で増えることはできず、粘膜などの細胞に付着して体内に入り込んで増殖。物の表面に付いたウイルスは時間がたてば壊れてしましますが、付着した物の種類によっては24〜72時間程度、感染する力があると言われています。

■主な症状

発熱、のどの痛み、せきなどの風邪症状が1週間程度続きます。特徴的なのは、強い倦怠感を訴える人が多いこと。動くのに支障が出るほどのだるさが続きます。感染から発症までの潜伏期間は1〜12.5日。8割が風邪症状の軽症ですが、2割が呼吸困難などの肺炎症状を発症し、重症化しています。

感染しない、させないために

新型コロナウイルスの感染経路は、一般的には飛沫感染と接触感

染です。

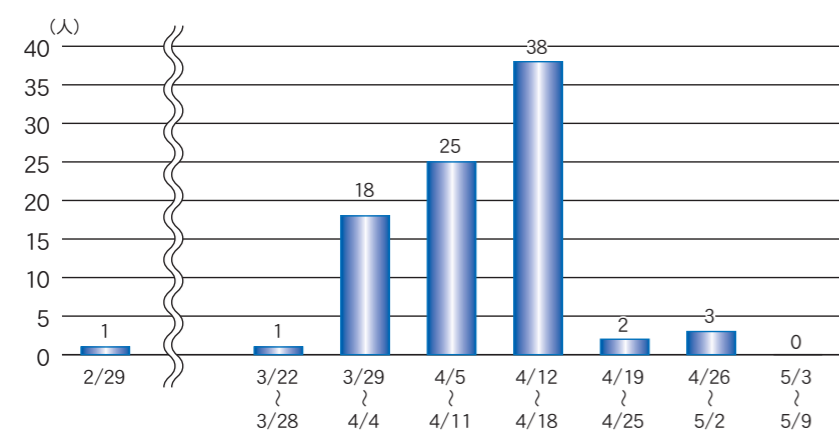
飛沫感染とは、感染者のくしゃみ、せき、つばなどのしぶきと一緒に放出されたウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染することです。接触感染とは、ウイルスが付着した物を触れた手で目、鼻、口などに触ることで、粘膜などの細胞を通じて感染することです。

密閉した空間や近距離で多くの人と会話するなどの環境では、せきやくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあります。そのため、人と人との距離をとる、外出時はマスクを着用する、家の中でもせきエチケットを心掛ける、せっけんによる手洗い、アルコールによる手指消毒、家や職場の換気を十分にするなど一般的な感染症対策に加え、休養や睡眠を十分に取ること、健康管理をしっかりすることで、自分が感染しないだけでなく、他人に感染させないように徹底することが必要です。

県内の状況

県内では2月29日に初の感染者を確認。3月26日に2例目を確認されてから5月11日現在、88人が感染し、このうち80人が回復しています。

宮城県内の新型コロナウイルス罹患者数の推移



市の状況と対策

市では1月28日に新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、登米市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置。予防や感染拡大防止のため、市の公共施設の閉館や、不特定多数が集まるイベントの中止や延期の決定、小・中学校の臨時休業などを実施しました。

4月22日には、登米市生活経済

新型コロナウイルスの健康相談は

- ▶厚生労働省 ☎0120(565)653
【受付時間】9:00~21:00(土日・祝日も実施)
- ▶宮城県 ☎022(211)2882、022(211)3883
【受付時間】24時間(土日・祝日も実施)
- ▶登米市市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116
【受付時間】8:30~17:15

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、経済対策や生活支援制度をとりまとめた冊子を各世帯に配布しますので、ご確認ください。
最新の情報は、市公式ホームページで確認できます。